

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム磐田かつらぎの家

目標達成計画

作成日: 令和元年 8 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に要する期間	
1	35	・災害時日中夜間を含めて職員数が少なく、迅速な避難誘導行動が取れない。	・近隣住民(自治会)の協力を得る為に常日頃相互協力の関係強化を図っていかなければならない	①協力関係構築の為に具体的な話し合いを持って行動計画書を策定して、出来れば協定書を締結する。 ②緊急避難所として近隣施設(創価学会講堂)との	6ヶ月
2	33	病気が重度化した場合については、日頃から家族との間で話し合いをしている。協力医の関係から医療機関への紹介が方針になっているが、突然急変するケースもあり、看取りの心構えが必要になっている。	・看取りの重要性を認識する上でも、全介護職に「看取り研修」内外研修の受講を目標とする。	・全ての介護職員に対して、「看取り研修」の必要性を認識させて、当該研修のスケジュールを策定し、実践する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。